

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3-③	循環型社会の形成を推進する	環境部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
1人1日当たりのごみ排出量（年間）	g	871	850※	831	818	856	達成
ごみの資源化率	%	25.4	26.4	25.5	25.1	26.6	未達成

※ 令和2年国勢調査の確定数に基づき再計算し、「853g」から「850g」に修正します。

関連事業				
○ごみの減量化・資源化促進事業○食品ロス削減・フードバンク活動支援事業○可燃ごみ戸別収集 拡充事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	6,065	5,814	5,669	
執行率（%）	87.70	94.32	97.79	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> <li>平塚市ごみ通信の発行のほか、ごみ減量化推進委員会による海岸清掃、地区内スーパーでのマイバッグ持参キャンペーン及び持参率調査などの活動を支援することにより、ごみの減量化や資源化を推進しました。</li> <li>市庁舎でのフードドライブの実施のほか、市民提案型協働事業において、フードバンク湘南による食品ロス対策WEBシステムの構築や食品関連事業者への事業案内などの活動を支援することにより、食品ロスの削減を推進しました。</li> <li>令和元年10月からモデル地区での可燃ごみ戸別収集の社会実験を開始し、令和3年4月からモデル地区での本格実施を開始しました。以後、実施対象エリアを順次拡大しました。</li> </ul>

**施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」**

・ごみの減量化や資源化に向けた市民・事業者に対する普及啓発を図るとともに、市民団体の活動を促進する必要があります。

⇒ごみに関する情報提供のほか、生ごみ自家処理相談会などの実施により、ごみの排出抑制、減量化や資源化に向けた市民の自主的な取組を促進するとともに、ごみ減量化推進員会によるイベントでの普及啓発活動が効果的・効率的なものとなるよう、支援を継続します。

・食品ロスの削減やフードバンク活動を持続的なものにするため、食品ロス対策に取り組む市民や事業者を増やす必要があります。

⇒ごみ通信や市ホームページなど、様々な媒体を活用し、食品ロス削減に関する普及啓発をします。

・ごみ収集体制を充実し、ごみ出しに係る市民の負担を減らす必要があります。

⇒民間活力の活用を含めた、ごみ収集体制の検討を継続するとともに、可燃ごみ戸別収集の対象地区を段階的に拡大していきます。また、ごみ収集業務のデジタル化による業務の効率化を進め、収集時間の見える化など、市民の満足度の向上を図ります。